議事（3）協議事項①

令和7年度室戸市総合教育会議

児童生徒の学力について

室戸市教育委員会学校教育課　2025.8.21

今年度の学力調査について

○ 全国学力・学習状況調査
　令和7年4月17日（木）に実施
　　中3、小6・・・ 国、算・数、理、質問調査

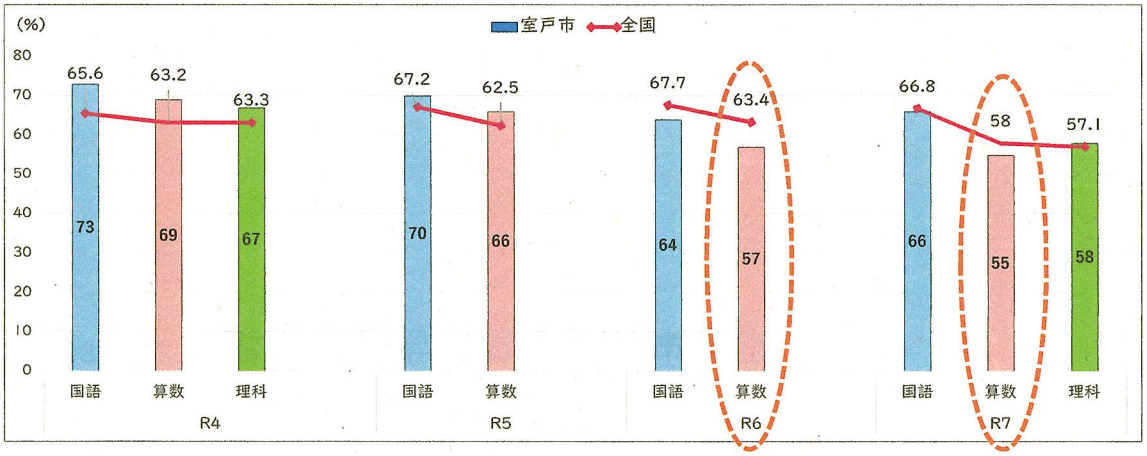
○ 標準学力調査
　令和7年4月実施
　　小2、小3・・・国、算、意識調査

○ 高知県学力定着状況調査
　令和7年12月4日（木）実施予定
　　中1、中2・・・ 国、数、社、理、英、質問紙
　　小4、小5・・・ 国、算、理（5年のみ）、質問紙

全国学力・学習状況調査より

＜小学6年生＞

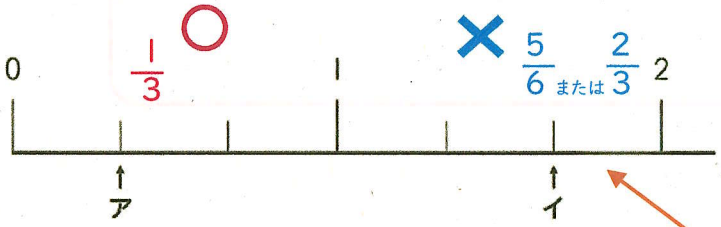
算数に課題がある



全国学力・学習状況調査より（小学校）

【正答率24.1%】(3)

(3) 次の数直線のア、イの目もりが表す数を**分数**で書きましょう。



ア は正解できている

イ を正解できていない

$\frac{5}{3}$ または $1\frac{2}{3}$

1をいくつに分けているかで単位分数が決まる

数直線上の1より大きい数を、1より大きい分数として捉えて表すことができていない

【正答率91.4%】(4)

(4) $\frac{1}{2}+\frac{1}{3}$ を計算しましょう。

全国学力・学習状況調査より（小学校質問紙）

家庭学習の時間（R7 ← R6）

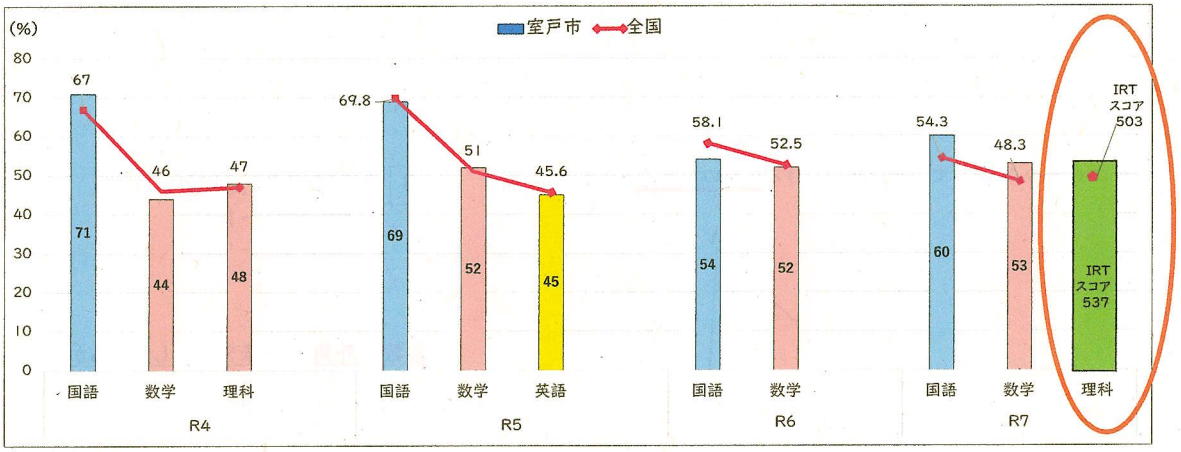
○ 学校の授業時間以外の普段（月曜日から金曜日）の時間
　30分より少ない・・・11.9% ← 10.2%
　（全くしない・・・・・・・ 5.1% ← 2.0%）

○ 土曜日や日曜日など学校が休みの日の時間
　1時間より少ない・・・44.1% ← 24.5%
　（全くしない・・・・・・・・・5.1% ← 16.3%）

宿題の内容や量は適切であるか

全国学力・学習状況調査より

＜中学3年生＞　　正答率、IRTスコアとも全国を上回る



全国学力・学習状況調査より（中学校）

- ○ 理科は今年度よりCBT調査（タブレットで解答）
- ○ 問題に難易度を設定し、学力をIRTスコアで表す
  難易度の高い問題に答えていると、IRTスコアは高い
  500を基準にして表す
- ○ IRTスコアによって、1～5の5段階（IRTバンド）に分ける
  5が最も高いバンド
- ○ 共通問題6問、実施日によって異なる問題4問、生徒ごとに
  異なる問題（非公開問題）16問

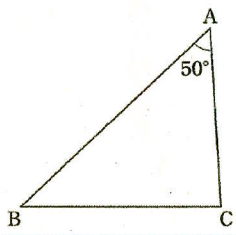
全国学力・学習状況調査より（中学校）

1 下の1から9までの数の中から素数をすべて選び、選んだ数のマーク欄を黒く塗りつぶしなさい。

1 2 3 4 5 6 7 8 9

1【正答率21.6%】
全国比 −10.2
県比 − 5.7

3 下の図の△ABCで、頂点Aにおける外角の大きさを求めなさい。



3【正答率21.6%】
全国比 −10.2
県比 − 5.7

素数や外角の意味を理解しているかどうか

全国学力・学習状況調査より（中学校質問紙）

家庭学習の時間（R7 ← R6）

○ 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）の時間
　1時間より少ない・・・35.1% ← 44.3%）
　（全くしない・・・・・・・・・5.4% ← 8.2%）

○ 土曜日や日曜日など学校が休みの日の時間
　1時間より少ない・・・40.5% ← 41.0%
　（全くしない・・・・・・・・・2.7% ← 19.7%）

全くしない生徒の状況は改善

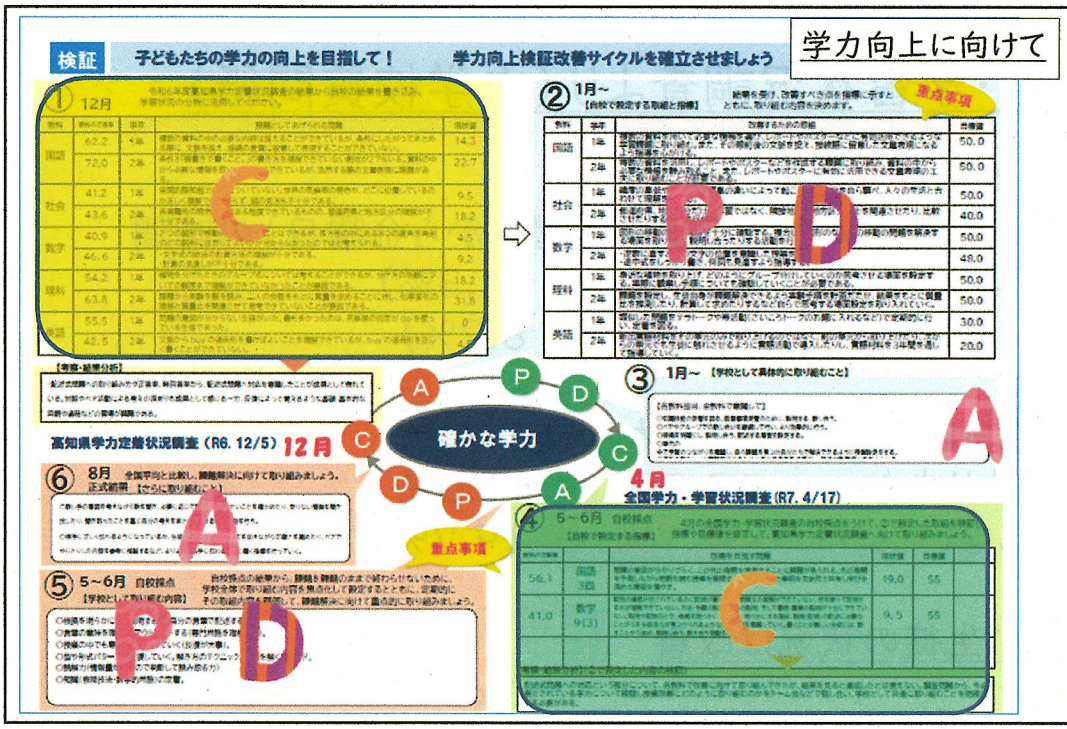
学力向上に向けて

○ 組織全体での授業改善
　教師が知識・技能を教える授業
　　→ 児童生徒が主体的に学ぶ探究学習へ

身に付けるべき資質・能力を明確にした授業

・研究主任会（研修マネジメント） → 学力分析会（教科）

・中学校区での小中学力分析会



PDCAサイクルを見える化

学力向上に向けて

○ 授業と家庭学習のシームレス化（つながり）

授業で友達と協働的に学び、理解したことを、
家庭学習では自分でできることが重要

タブレットの活用

⇩

ドリル、課題探究学習、反転学習（予習から授業へ）

検証　子どもたちの学力の向上を目指して！　学力向上検証改善サイクルを確立させましょう　【　　学校】

① 12月

令和〇年度高知県学力定着状況調査の結果から自校の結果を書き込み、学習状況の分析に活用してください。

対象	教科の正答率	教科	課題としてあげられる問題	現状値
4年				
5年				

② 1月～

【自校で設定する取組と指標】

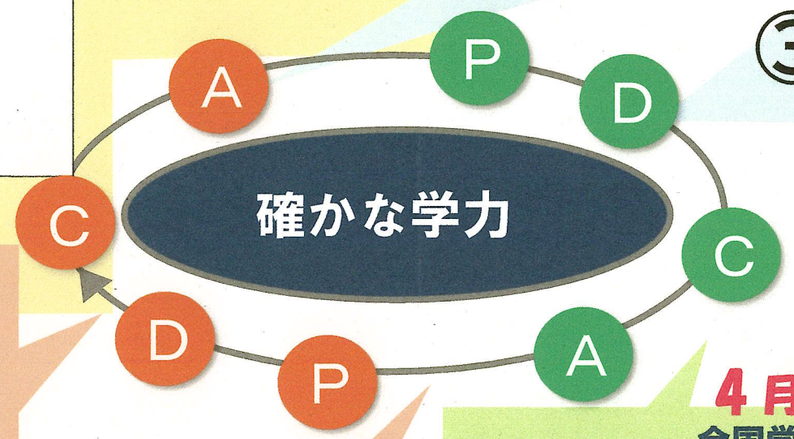
結果を受け、改善すべき点を指標に示すとともに取り組む内容を決めます。

重点事項

対象	教科	改善するための取組	目標値
4年	国語		
	算数		
5年	国		
	算数		
	理科		

③ 1月～

【学校として具体的に取り組むこと】



高知県学力定着状況調査　12月

④ 5～6月 自校採点

4月の全国学力・学習状況調査の自校採点結果をうけて、②で設定した取組内容を検証し、指標や目標値を修正して、高知県学力定着状況調査へ向けて取り組みましょう。

【自校で設定する指標】

教科の正答率	教科	改善を目指す問題	現状値	目標値
	国語			
	算数			

【検証】（②で設定した課題に対する取組内容の検証）

4月

全国学力・学習状況調査

⑤ 5～6月 自校採点

自校採点の結果から、課題を課題のままで終わらせないために、学校全体で取り組む内容を焦点化して設定するとともに、定期的にその取組内容を評価して、課題解決に向けて重点的に取り組みましょう。

重点事項

【学校として取り組む内容】

⑥ 8月 正式結果

全国平均と比較し、課題解決に向けて取り組みましょう。

【さらに取り組むこと】